

ジブチ月例報告 (2023年12月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 12月12日、閣議が開催され、総額1524億ジブチフランとする2024年当初予算案について承認。同予算案は、国際的な複数の不確定要素やインフレ圧力が続く中で策定され、2023年補正予算比で12億8200万ジブチフラン(0.8%)の微減。
- 12月31日、ゲレ大統領は、ジブチ国民に対する新年に向けた挨拶を実施。同挨拶では、地域の平和と安定やパレスチナ情勢、領土の安定に貢献しているジブチ軍・治安部隊への感謝等について言及。

【外政】

- 12月4日、ゲレ大統領は、ジブチを訪問していたウェタングラ・ケニア下院議長の表敬を受け、両国間の経済分野の発展及び地域における主要な課題の調整に向けた協力について意見交換。
- 12月9日、スーダン情勢に関する第41回IGAD臨時首脳会合がジブチにおいて開催され、ゲレ大統領、ハッサン・ソマリア大統領、ルト・ケニア大統領、アビィ・エチオピア首相、ブルハン・スーダン主権評議会議長、モルガン南スーダン外務・国際協力大臣、センピジャ・ウガンダ防衛・退役軍人大臣、ウォックネーIGAD事務局長らが出席。
- 12月16日、ゲレ大統領は、故 Nawaf al-Ahmad al-Jaber al-Sabah クウェート前首長の逝去に対する弔意を表明。また、17日、新たに就任した Mishal al-Ahmad al-Jaber al-Sabah クウェート首長に対する祝電を発出。
- 12月20日、ゲレ大統領は、ソマリアのシンクタンク Heritage Institute 主催の第7回ソマリア賢人フォーラムに出席するため、ジブチを訪問していたバレ・ソマリア首相の表敬訪問を受け、ソマリアに対するジブチの支援について意見交換。
- 12月20日、エチオピアを実務訪問していたディレイタ国民議会議長は、エチオピア国民議会議長と会談し、二国間関係の強化について意見交換。また、同訪問において、エチオピア航空航空宇宙トレーニング・センターを視察。
- 12月28日、ジブチを訪問していたハッサン・ソマリア大統領及びビヒ・ソマリランド「大統領」は、ゲレ大統領の仲介によって、2019年以来中断していた会談を実施。
- 12月31日、ゲレ大統領は、ジブチを訪問していたダグロ即応支援部隊(RSF)司令官を迎え、2023年4月から継続するスーダン情勢について意見交換。

【経済・開発】

- 12月1日、ゲレ大統領は、UAEで開催された国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）開会式に出席するとともに、同会議において効率的なエネルギーへの移行に対するジブチの取組や国際社会全体が団結する必要性等に関するスピーチを実施。
- 12月2日、ヨニス・エネルギー大臣とフセイン AMEA POWER 社CEOは、グランバラ太陽光発電所建設プロジェクトの発電容量を今後5年で25MWから50MWに拡張及び蓄電池システム導入に向けた調査開始に関する覚書に署名。
- 12月3～10日、日本企業を含む企業200社以上が参加する第3回ジブチ国際見本市が開催。4日には、ゲレ大統領を始めとするジブチ政府高官、外交団が出席する中で、同見本市開幕式を実施。
- 12月12日、世界銀行は、ジブチにおける農業・食品バリューチェーン開発プロジェクトの支援を目的に、国際開発協会（IDA）と通じてジブチに対して新たに1500万ドルの融資を決定した旨発表。
- 12月19日、閣議が開催され、ケニアとの投資保護協定の批准に関する法案について承認。同二国間協定は、安全な投資の法的枠組みを確立し、投資と貿易を推進するもの。また、26日の閣議において、ルワンダ及びモロッコとの投資促進・保護協定の批准に関する法案についても承認。
- 12月19日、デンマークの海運大手マースクは、ホーシー派による商船への攻撃を受けて、紅海南部とアデン湾を航行予定の同社船舶を喜望峰を迂回するルートに変更したが、24日、米国が発表した紅海における商船の安全確保に向けた多国籍作戦（繁栄の守護者作戦）の開始に関する発表を受けて、紅海及びアデン湾での船舶運航再開を検討している旨発表。

【保健・衛生・社会】

- 12月5日、第18回無形文化遺産保護条約政府間委員会がボツワナで開催され、同委員会において、ジブチの Xeedho（ラクダや牛などの食肉を木彫りの容器で保存した伝統料理）がユネスコ人類無形文化遺産に登録決定。
- 12月14～16日、ジブチ初となるジブチ医学会が開催。「アフリカにおける医療の構築：イノベーション・協力・持続可能性」をテーマとする同学会にアブドゥルカデル首相らが出席。

【軍事・治安】

- 12月4日、沿岸警備隊創設13周年式典が開催され、アブドゥルカデル首相、ブルハン国防大臣、ハッサン・インフラ設備大臣、ザッカリア統合参謀総長、ハッサン・サ

イード治安庁長官、各国外交団らが出席。

- 12月13日、イドリス・ファラ・アバネ警察学校は、第19期ソマリア警察訓練コース修了式を開催。同訓練コースは、ソマリア警察の資質向上によって、ソマリア各州の治安の更なる保障を目的として実施され、ソマリア人警察官94名が訓練を修了。
- 12月14日、コロナ仏欧州・外務大臣及びルコルニュ仏軍事大臣は、ジブチ・仏防衛協定更新に関する意見交換のためにジブチを訪問し、ゲレ大統領を表敬するとともに、ユスフ外務・国際協力大臣及びブルハン国防大臣との意見交換を実施。

【日本関係】

- 12月6日、在ジブチ日本大使館は、第3回ジブチ国際見本市の開催に際して、ジブチ商工会議所と共催で日本大使公邸にてレセプションを開催。ハッサン・インフラ・設備大臣、サフィア投資・民間部門開発担当長官を始めとしたジブチ政府関係者、日本を含む各国企業関係者が参加。
- 12月18日、原大使は、ゲレ大統領に対して信任状を捧呈し、両国と両国民が利益を共有するパートナーシップの発展に貢献する意欲を表明。
- 12月24日、原大使とユスフ外務・国際協力大臣の間で、ジブチにおける自衛隊の地位に関する書簡の署名・交換を実施。本書簡により、海賊対処のために運営されているジブチの自衛隊活動拠点が、在外邦人等の保護措置及び輸送に活用される際も、円滑かつ安定的に活動することが可能となった。
- 12月25日、原大使は、アブドゥルカデル首相に対して着任表敬を行い、日ジブチ友好関係や協力関係の強化について、意見交換を実施。また、26日には、ディレイタ国民議会議長への着任表敬を実施。
- 12月27日、令和5年度対ジブチ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ディキル州ムルード高校増築計画」の贈与契約に係る署名式が行われ、国民教育・職業訓練省大臣、被供与団体のムルード開発委員会副代表、原大使らが出席。

(了)